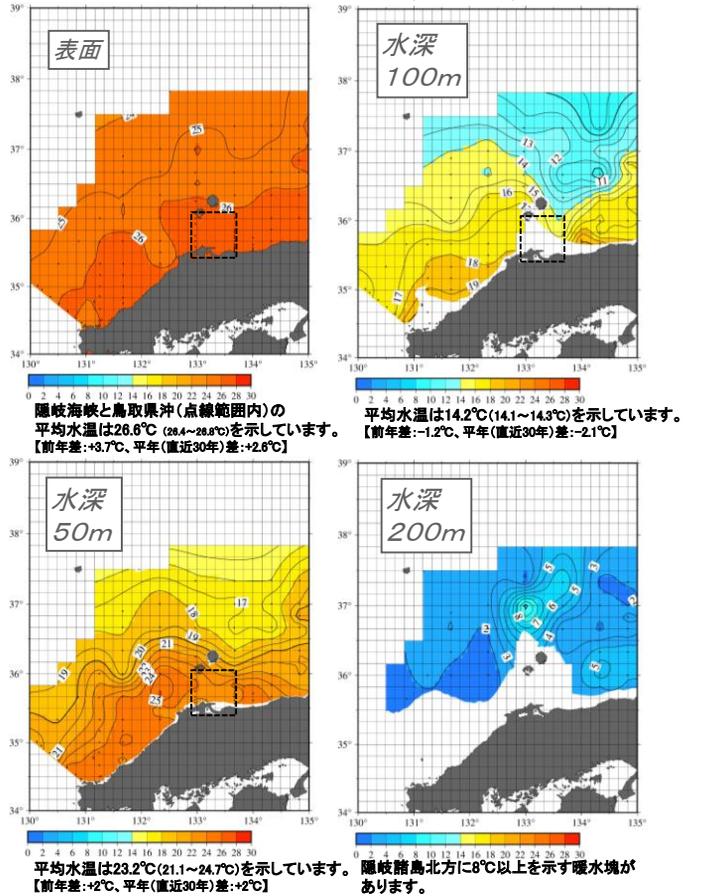
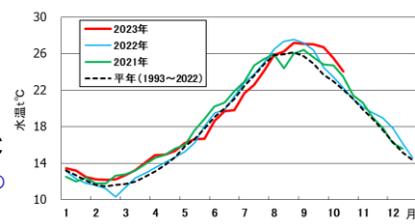




## 鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽  
(電話:0858-34-3321)

10月中旬 24.1℃  
平年より 2.0℃高め



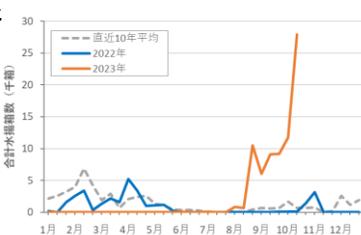
### 9月下旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水域	鳥根沖N37°以北に冷水域(13℃以下)が認められます。
隠岐諸島北方の冷水域	鳥取県東部沖N36°10'以北に冷水域(13℃以下)が認められます。また、鳥取沖N36°40'付近に冷水域(11℃以下)が認められます。
山陰・若狭沖の冷水域	
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れると考えられます。主流の一部は、13℃等温線に沿って流れると考えられ、鳥取県沖ではN36°以北を北東方向に流れる可能性があります。また、鳥取県沖では11℃以下冷水域周辺に反時計回りの流れが生じると考えられます。

## 水産試験場

### 境港でスルメイカの水揚げが好調

8月以降から境港では、小型イカ釣り漁船による生鮮スルメイカの水揚げが、直近10年平均を上回る好調状態が続いています。特に、10月中旬は、前年比880倍、平年(直近10年)比84倍となる27,934箱(25入りサイズ主)となり、直近15年で最も多い水揚げが認められました(図1参照)。



近年の境港における小型イカ釣り漁業主漁期は1月～3月であり、8月以降の水揚げ増加は異例の現象だと言えます。

日本海のスルメイカ分布状況を把握するために実施している漁場一斉調査では、2023年の結果が過去最低値を示し(図2参照)、当年における日本海スルメイカの分布量は、過去最低水準と考えられています。この結果から2023年は、例年とは異なる時期(8月以降)にスルメイカが来遊し、漁場となっている隠岐諸島周辺を含む鳥取県域に、日本海に分布するスルメイカが集中し、局所的な漁場を形成している可能性があります。

鳥取県水産試験場では、来遊と漁場形成要因を特定するため、水揚げされたスルメイカの精密調査と、詳細な漁場の聞き取り調査を継続して実施しています。

今後とも、調査の御協力よろしくお願ひします

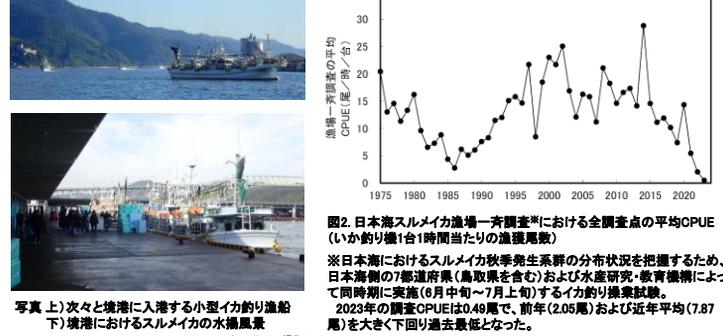


図2. 日本海スルメイカ漁場一斉調査における全調査点の平均CPUE(いか釣り機1台1時間当たりの漁獲尾数)  
※日本海におけるスルメイカ秋季発生系群の分布状況を把握するため、日本海側の7都道府県(鳥取県を含む)および水産研究・教育機構によって同時期に実施(8月中旬～7月上旬)するイカ釣り操業試験。  
2023年の調査CPUEは0.49尾で、前年(2.05尾)および近年平均(7.87尾)を大きく下回り過去最低となった。(2023年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報 より一部抜粋)

令和5年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業、漁業の皆様を支援してまいります

## 西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136  
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424  
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

## 境港水産事務所

### 第37回境港水産まつりが開催されました!

令和5年10月8日(日)に境港水産物地方卸売市場において、第37回境港水産まつりが開催されました。コロナ禍のため令和2年から開催が延期されており、今年は4年ぶりの開催となりました。当日は鮮魚・水産加工品の販売、ベニズワイガニの無料配布(限定500食)、マグロ解体ショー、セリ体験や水産学習コーナー(ベニズワイガニの美味しい食べ方教室、遊戯コーナー)など、楽しいイベントが盛りだくさんでした。約2万人のお客さんが来場され、大変な賑わいを見せました。



## 栽培漁業センター

### 魚病検査室 ～寄生虫の世界～

養殖魚にも様々な外部寄生虫が付くことがあります。宿主となる魚の体表、鰓、口腔、鰓など寄生部位は様々で、その特徴や生態は多種多様です。寄生虫の大量寄生により、魚の大量死亡や摂餌不良、商品価値の低下を招くなど養殖現場において大きな被害となる場合があります。栽培漁業センターでは、寄生虫の生態に関する調査・研究、駆虫試験、現場での防疫対策等を実施することで被害の軽減・防止を図っています。

今回は、県内で確認された数ある寄生虫の一部について、その特徴ある姿をご紹介します。



丸い体に馬蹄形の大核がニヤリと微笑む。マス類の消化管から体内に侵入し、鰓に胞子の塊(キセノマ)を形成し、宿主を内部から徐々に弱らせるトロイの木馬。  
「ブラ」というラッパ型の固着器で、マス類の口腔や鰓に無数に寄生する。大量に寄生すると魚の見栄えが悪くて悪くなるため商品価値の低下を招く。

## 潮に夢を

# 共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530